

# 今年の夏に行われた盆踊り・納涼祭



今泉自治会 (7/25, 26)



下丸子四丁目町会 (7/27, 28)  
ザ・リバープレイス自治会



矢口二丁目15号館自治会 (7/27, 28)  
矢口二丁目16号館自治会



いずみえん (8/1)



古市町会 (8/2, 3)



下丸子三丁目町会 (8/3, 4)



多摩川ハイム自治会 (8/3)



下丸子東町会 (8/24, 25)



シエルズガーデン自治会 (8/24)



東京サーハウス自治会 (8/24)



アルス多摩川自治会 (9/15)



矢口南町会 (9/28, 29)

## ソーラン節



矢口二丁目公園 (7/27, 28)



いずみえん (8/1)



東八幡神社 (8/2, 3)



下丸子三丁目町会 (7/28)

## 多摩川小学校の小学5年生が踊ってくれました!

## そーめん流し

## 矢西徳持ビクトリー ～全日本大会出場～

地元の小学生ソフトボールチーム「矢西徳持ビクトリー」が、第38回夏季全日本小学生男子ソフトボール大会に、2大会連続で出場しました。地元の方々からは、多くの応援や寄付のご協力をいただき、本当にありがとうございました。試合は、1回戦で昨年優勝チームと対戦し見事勝利しましたが、次の日の2回戦で力尽きました。

次の目標は秋の都大会優勝で、また全国を目指します。出場メンバー これからも応援よろしくをお願いします。(監督 恩河 敬治)



## 六所神社 ～神社誌刊行～

下丸子の氏神様、六所神社ではこのたび「神社誌」(B6 330頁)を刊行しました。

神社の由来、歴史、現況などがこの一冊に網羅されています。一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

詳細は神社社務所までお問合せください。(六所神社社務所 電話 03-3758-0351)

## 《行事案内》

- ★多摩川清掃工場環境フェア2024  
日時:10月20日(日)10時～14時30分
- ★東京文化財ウィーク2024「双盤念仏」の特別公開  
日時:10月26日(土)14時～16時 場所:今泉延命寺
- ★おたオープンファクトリー  
日時:11月30日(土) 時間は各工場による
- ★家族で歩こう 矢口ビジュアルウォークラリー  
日時:12月1日(日)10時～12時

## 《編集後記》

各自治会・町会の夏のイベントがコロナ前の盆踊りや祭礼(お神輿)に戻り盛大に行われ、楽しい時を過ごされた事とあります。

猛暑の夏も終盤を迎え、朝晩はようやく秋風を感じる日も増えてきましたが、まだ昼間は残暑が厳しい日が続いています。例年であれば衣替えの時期ですが夏服(半袖)の出番がまだありそうな感じがします。秋が待ち遠しいです。(田崎 晃)

大田区では「18色の緑づくり」を行っており、矢口地区では菜の花とジニア(百日草)を育てています。



発行 地域力推進矢口地区委員会  
編集 矢口トーク編集委員会  
事務局 矢口特別出張所地域力推進係  
〒146-0093 大田区矢口2-21-14  
電話(3759)4686 FAX(3759)1492  
ホームページアドレス  
[https://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts\\_yaguchi](https://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts_yaguchi)



この矢口トークはこちら

矢口特別出張所管内の人口(9月1日現在)

人口	44,330名	世帯	24,011世帯
----	---------	----	----------

## 多摩川小学校防災活動拠点 風水害訓練

8月26日(月)矢口区民センターで多摩川小学校防災活動拠点の風水害訓練が行われました。

令和3年度から、**水害時緊急避難場所として開設できない多摩川小学校の代わりに、矢口区民センターが※補完避難所として開設されることになりました。**これを受け、多摩川小学校防災活動拠点役員の方々による風水害時の開設訓練が行なわれ、参加者を3つの班に分け、以下の①～③の避難所開設作業をローテーションで行いました。

①受付・トイレの設営：避難者の受付スペースの作成、簡易トイレ設置手順の確認

簡易トイレ



②避難スペースの開設：体育室等の避難者用スペースの区画づくり

③健康観察室・要配慮者専用スペースの設営：要配慮者専用スペースで使用する段ボールベッドの組み立て及びエアーマットの空気入れと使用確認、健康観察者専用スペースの確認及び簡易テントの設置、ペットスペースの確認

今回の訓練で、体育室における熱中症対策、効率のよい区画づくり作業、簡易トイレの運用及び処理等多くの課題が見つかりました。今後はこうした課題をいかに克服し、解決していくかを話し合いながら、より安心・安全な避難所運営を目指します。

※補完避難所…避難所の収容力に不足が生じた場合に、これを補完する他の施設等のこと。

矢口区民センターは、他の水害時緊急避難場所と同時開設となる。

災害発生時、区民の皆様がいち早く災害に関する情報をお届けするため、「**大田区防災アプリ**」を導入しています!アプリでは区の防災情報システムと連携し、避難所の開設状況や避難発令情報等をリアルタイムにお知らせします。

**いざという時に大切な命を守るため、本アプリの活用およびご家族・ご友人等にも周知のご協力をお願いいたします。**



iPhone



Android

## マイ・タイムライン講習会

8月25日(日)大田区民プラザにて大田区防災危機管理課によるマイ・タイムライン講習会が開催されました。講師には公益法人市民防災研究所の井上浩一氏をお招きし、区民約30名が参加しました。マイ・タイムラインとは、「事前防災行動計画」のことであり、雨や風は事前に予測できるので風水害・土砂災害が発生する前にあわてることのないように「**命を守るための防災行動**」をあらかじめ決めておく計画のことです。

前半では「**水害・土砂災害の基礎知識を学ぶ**」と題し、大雨での河川の氾濫・土砂災害を予測し、台風が来れば高潮・突風の被害が加わることを学びました。住んでいる場所によって災害、避難先、避難方法は異なります。水害・土砂災害等のリスクを知るための種々のハザードマップの見方に慣れておくことは大切です。

命を守るキーワードは、「**早めに避難する**」「**避難開始のタイミングを決めておく**」ことです。緊急避難場所に行くことだけが「避難」ではありません。避難場所の密集回避や環境変化による体調不良を避けるためにも分散避難を検討しましょう。分散避難とは、先ず在宅避難(屋内待機・垂直避難)、次に縁故等避難(家族や親戚・知人宅・ホテル等)、最後に緊急避難場所の順です。防災気象情報・避難情報を確認しながら「まだ大丈夫」と思うことなく早めに避難しましょう。

後半では「**台風が近付いているとき!**」と題した作成キットを使用してマイ・タイムラインを作成しました。前半の講話を思い出しながら住まいの地域によって必要な情報のシールを貼り、3種類のハザードマップから自宅の浸水・土砂災害の危険性を確認して記入、最後に避難する場所を記入して時系列で避難準備・開始・完了までのシールを貼りました。作業にかかる時間の記入などに1時間弱で講習会は終了しました。

台風10号では、関東地方では大きな被害はありませんでしたが、全国各地に大きな被害をもたらしました。地球温暖化の影響と思われる異常気象が各地で発生しています。**明日は我が身**かもしれません。**備えあれば憂いなし**です。日頃から身近な防災対策に心掛け、マイ・タイムライン講習会に参加して我が身を守る対策を学んでおくことも必要と思われます。

矢口トークは「みんなで話し合って、明るく楽しい町づくりをしていきましょう」という意味を込めてつけました。